

おおの議会だより

No. 66

61.8.25



“モウー”秋です

連日のうだるような暑さのため、六呂師の奥越高原牧場の牛たちも少々夏バテ気味でしたが、このごろの朝晩は高原の涼しさを取り戻し、ススキの穂も出はじめて、めっきり秋の気配が感じられます。毎年、秋になると訪れる白サギも既に飛来し、牛と仲良くたわむれています。

市政をきく

一般質問から

市長の政治姿勢について

問 当市は自然的な立地条件に恵まれている。資本を投入して生かせば活性化につながると思うが、どうか。

市民の声を十分に聴くことは大事だが、各種団体から市長に出席の要請があったらどうするのか。

重要問題を計画する場合、決まっただけの報告や相談だけでなく、素晴らしい構想をもった市民や議会と事前に十分協議すること

が必要だと思うが、どうか。

答 当市の恵まれた広大な土地・緑・水等の自然の立地条件を生かした観光事業は見逃せない活性化対策の大きな要素である。そのためには、国道 157・158 号線の早期改修を強力に進めたい。県でも現在、奥越の振興計画を立案中である。

諸会合への出席については、可能な限り出席して、市民との融和を図りながら率直な意見を聴き、市政に反映したい。

重要問題の協議については、調査計画段階から事前に協議を要するものや、調査をしなければ協議できないものもあるが、いずれにしても協議時期を誤らないように心掛けたい。



完成間近い六呂師高原のテニスとサッカーコート

移転問題や街路整備の将来計画などを十分検討したうえで計画を進めてもよいのではないかと考えていた。しかし、この構想実現には相当の年月を要することや、当センターは広域行政組合の事業として行うことになっていること、さらには、市民は一日も早い地域経済の活性化を熱望している現状等を熟考して、現計画を推進したい。

施設借用について

問 有終会館とか市民会館など、市の施設を多くのサークルが利用しているが、最近、勤めの関係で 8 時ころしか利用できない場合もあるので、もう少し延長してほしいという声があるが、どうか。

答 有終会館の場合は午後 10 時までになっているが、この時間はいろんな立場の方々の意見をよく聴いたうえで決められたものであるのでご理解願いたい。

それと、9 時までになっているナイター照明時間を延ばしてほしいという声も聞く。利用者の希望も分からないこともないが、その施設の周辺の方々の環境問題や、夕食後の医学的にみた場合の適当な運動時間などから設定されているので理解願いたい。

議案等の審議結果

| 第三十二号 | 議案番号 | 議案等の審議結果 |
|-------------------------|------|----------|
| 案 | 件 | |
| 昭和六十一年度大野市一般会計補正予算(第二号) | 名 | |
| 原案可決 | 結果 | |

ふるさと観光物産センターについて

問 国鉄越前大野駅の横に建設計画のあった「ふるさと観光物産センター」について、市長は当初、「中味を含めて再検討したいので着工は延期したい」と述べていたが、最近になって「建設場所をもう少し西の方へ移して建設したい」というような発言をしているが、この計画についての考え方を伺いたい。

答 最近、市街地のドーナツ化が極度に進んでいるので、できればこのセンターを旧市街地活性化対策の目玉としたい。

建設に当たっては、大野高校の

基本構想に対する 考え方について

問 第二次大野市総合計画は昨年の9月議会で可決されたものであるが、市長はこの計画の見直しを明らかにしている。全面的な見直しなのか。

答 第二次大野市総合計画の基本構想は、昨年9月議会で議決を得たものであり、この構想に示された将来像や施策大綱を尊重していきたい。

基本計画については、国や県の諸制度の変更や社会情勢の変化に沿って、構想の主旨を尊重しながら、実施計画のローリング時にある程度見直したい。

地域活性化の 具体策について

問 地域開発には、企業を誘致したり公共事業を誘致する外来型開発と、地元の企業が自らの頭で考え、技術を開発し、外と結び合う内発的発展があるといわれている。

内発的発展は地域内にある原材料の利用や技術の活用、地域産業の拡大などの面から、地域振興・地域活性化へつながるものであり



55年、当市に進出した都築紡績



下水道を整備し、汚れを防ぎたい市街地の河川

有利性があると思うが、市長の見解を伺いたい。

答 地域の活性化方策としては、外来的な要素と内発的な要素があると思う。

今後とも企業誘致や公共工事の導入による外来的な要素での活性化を図るとともに、大野で頑張っている地元企業の育成や発展のためにも、いろいろな方策を行って内発的発展にも努めたい。

企業誘致について

問 当市には働き場が十分でないため、約2,400人の市民が市外に流出



している。既存企業の規模拡大や新規の企業誘致を図る必要があると思うが、市長の見解を伺いたい。

答 企業を誘致するためには工業用地を提供しなければならないので、交通の利便や地質・工業用水・価格・面積等を考慮した地域を定めたい。

当面、先行取得する土地を含めて、現在協議を進めているが、企業誘致には全力を挙げて取り組みたい。

下水道事業の必要性 について

問 市長は県議会議員当時から汚水について心配していた1人であるが、下水道についてどう考えているのか。

答 生活様式の高度化や産業の発展、特に浄化槽の急速な普及によって、年々水質の汚濁が進んでいる。快適な生活環境の整備を図るためには、下水道の早期整備が必要と思われるが①上水道との関連②終末処理場用地の確保③市民とのコンセンサス④市の財政力——など、問題点も多いので今後、慎重に検討したい。

市道舗装の地元負担金 廃止について

問 市道舗装の地元負担金は年間100万円程度であり、61年度予算では84万6,000円と、たいした額ではないのでこれを廃止する意志はないか。

答 市道舗装の地元負担金については、54年以前に2回と58年にも改正して徐々に低率化を図ってきているのでご理解願いたい。

総合病院について

問 市長は「総合医療施設の建設は市民病院という経営形態では実現不可能であるので、既存の医師の活性化を考えている」と言っているが、総合病院ができないのなら何を計画するのか。

また、医師の活性化と急患センターの関連についても伺いたい。

答 まず、市医師会の協力を得て現在の休日急患センターに土曜日の午後と夜間の診療時間を採り入れて、内容の充実を図り市民の安心度を高めるよう、早急に実現に向けて努力したい。総合医療施設については、地域医療協議会で十分協議してもらって、市民が納得する結論を出したい。

人事の刷新について

問 市長は某マスコミとの対談で「活性化対策懇話会」のような組織を作り、若い人や婦人層の意見を反映しながら活性化を進めるとともに、市役所の機構（大課制）も見直したいと述べている。

大課制の見直しに並行して、人事の刷新を進めることが大事だと思うが、どうか。

答 “活性化対策懇話会、（仮称）のような組織を議会との協議のも



市医師会の協力を得て診療時間を延長し、内容の充実が望まれる休日急患センター

とに設置できないものかと考えている。

人事については、大森助役が7月末で退職されるので、なるべく早く後任を決めたい。

組織機構については十分検討して、年内には構想をまとめたい。

人事異動については、職員の退職も考慮しなければならないのでおおよその予定は62年4月と考えている。

一般企業・県との職員交流について

問 市の職員が一部県へ出向しているが、まだまだトップクラスやエリートが不足していると思われ

る。人材育成のため一般企業や県へ、もっと多くの職員を派遣してはどうか。

答 現在、行政改革によって職員数を減らしており、創意と工夫によって対処する必要がある。しかし、企業は利益を追求するものであり、行政指導サービスを担当する行政とは体質的に差があるので職員の交流は極めて至難だと思う。

しかし、新規採用職員の企業での研修についてはこれまでどおり行いたい。



職員数を減らすなど行政改革が進められている市役所

222回 7月臨時会

川崎市長の退職申し出に同意

第222回臨時会は7月14日招集され、会期を1日間と定めた後、川崎市長から提出された「大野市長の退職申し出について」を審議した結果、全会一致でこ

れに同意しました。

また、一般会計補正予算をはじめ、専決処分の承認を求める議案5件についても原案を承認しました。

入札の延期理由について

問 上庄中学校校舎改築の入札が延期された理由を伺いたい。

答 当初、6月定例会は7月中ころと聞いていたので、それに合わせて計画し、現場説明も行った。

一方、それまでに建築確認が得られるよう県へ申請をしたが、規模が大きいため「期間内に確認ができない」旨の通知があったため延期せざるを得なかった。

さらに、任期満了に伴う市長の交代や議会等の関連もあって遅れたので理解願いたい。

谷口工業の近況について

問 谷口工業が当市に適当な工業団地がないため、勝山市へ進出するとか、さらに、高速道路近くに進出するような話を聞くが、なんとか当市で旧に倍して工場を建設してもらえないのか。

答 現在、谷口工業が建設を予定している工場はプレス加工部門であり、30トントレーラーを要するため、高速交通の利便から当市での立地は困難であるが、建設地は決定してないとのことである。

しかし、今後も当市での拡張計画もあるようなので、近いうちに本社を訪れて要請したい。



拡張が期待される谷口工業

請願・陳情審議結果

| 番号 | 件名 | 提出者 | 結果 |
|-------|--------------------------|--|------|
| 請願6号 | 六間通りの環境整備事業について | 六間通り繁栄会 会長 安土 信一 大野商工会議所 会頭 宇野 治一 | 採 択 |
| 請願7号 | 六呂師小学校校舎及び六呂師保育園舎の改築について | 阪谷地区区長会長 中村 秀治 外3名 | 採 択 |
| 請願8号 | 市道編入について | 富田地区区長会長 南 正雄 新河原区長 松田 猛夫 | 採 択 |
| 請願9号 | 国鉄バス路線の存続について | 国鉄バスと地域の足を守る会代表 福田 巖 外 7,124名 | 採 択 |
| 請願10号 | 配水管の改修について | 清滝区長 出村 昭雄 外13名 | 採 択 |
| 陳情2号 | 市道編入及び一部改修並びに新設について | 大門区長 松村剛太郎 外11名 | 採 択 |
| 陳情3号 | 中野用水路の改修及び側溝の新設について | 水落町2区 区長 河原 弥生 | 継続審査 |
| 陳情4号 | バックネットの新設について | 上庄地区体育協会 会長 広田 豊外3名 | 採 択 |
| 陳情5号 | 五箇公民館の改築について | 上打波区長 田 莉子利一 外7名 | 継続審査 |
| 陳情6号 | 管工事部門の分離発注について | (社団法人)福井県管工事 設備工業協会 会長 杉田 宗雄 | 採 択 |
| 陳情7号 | 造園部門の分離・分割発注について | 奥越造園業会 会長 流 守人 | 採 択 |
| 陳情8号 | 駅東線の延長整備について | 東中野区長 今井 正平 外6名 | 継続審査 |
| 陳情9号 | 鉄工金属業者の安定経営について | 大野鉄工金属協同組合 理事長 南部 昌司 | 採 択 |
| 陳情10号 | 市有地の公園化について | 水落町2区 区長 河原 弥生 | 継続審査 |
| 請願2号 | 市道編入について | 土布子区長 松本 一男 外9名 | 採 択 |
| 請願3号 | 用水路の改良について | 菖蒲池区長 石田 稔 | 不採 択 |
| 陳情1号 | 建設士会大野支部に対する助成について | (社)福井県建築士会大野 支部長 玉木 鼎外7名 | 継続審査 |